

1. 議 事 日 程 (3日目)

(平成26年那智勝浦町議会第2回定例会)

平成26年6月18日

9時02分 開 議

於 議 場

日程第1	議案第40号 町道の路線変更について (建設常任委員会継続審査要求)	150
日程第2	常任委員会報告	151
日程第3	委員会所管事務調査継続調査要求	158
日程第4	閉会中の継続調査要求	158
日程第5	議員派遣について	158

2. 出席議員は次のとおりである。(12名)

1番	左 近 誠	2番	荒 尾 典 男
3番	下 崎 弘 通	4番	森 本 隆 夫
5番	蜷 川 勝 彦	6番	湊 谷 幸 三
7番	田 中 幸 子	8番	東 信 介
9番	松 岡 大 輔	10番	山 縣 弘 明
11番	中 岩 和 子	12番	引 地 稔 治

3. 地方自治法第121条第1項により説明のため出席した者の職氏名 (16名)

町 長	寺 本 眞 一	副 町 長	植 地 篤 延
教 育 長	森 崇	消 防 長	塩 崎 文 二
参 事 (総務課長)	城 本 和 男	参 事 (教育次長)	瀧 本 雄 之
総務課新病院 建設推進室長	浪 花 潔	会 計 管 理 者	田 代 雅 伸
病 院 事 務 長	喜 田 直	税 務 課 長	久 原 章 功
住 民 課 長	玉 井 弘 史	福 祉 課 長	大 江 政 典
観 光 産 業 課 長	松 下 安 孝	建 設 課 長	橋 本 典 幸
水 道 課 長	藪 根 敏 夫	総 務 課 副 課 長	矢 熊 義 人

4. 職務のため議場に出席した事務局職員の職氏名 (3名)

事 務 局 長	伊 藤 善 之
事 務 局 主 査	寺 地 強
事 務 局 副 主 査	疋 田 晋 一

~~~~~ ○ ~~~~~

9時02分 開議

〔4番森本隆夫議長席に着く〕

○議長（森本隆夫君） おはようございます。

ただいまから再開します。

本日の会議を開きます。

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

○議長（森本隆夫君） -----

-----

本日の日程はお手元に配付のとおりです。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第1 議案第40号 町道の路線変更について（建設常任委員会継続審査要求）

○議長（森本隆夫君） 日程第1、議案第40号町道の路線変更について（建設常任委員会継続審査要求）を議題とします。

建設常任委員長から、引き続き審査研究を行う必要があるため次の定例会までの継続審査の申し出が議長宛てに届いております。

お諮りします。

委員長からの申し出のとおり、次の定例会までの継続審査とすることに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（森本隆夫君） 異議なしと認め、委員長からの申し出のとおり、次の定例会までの継続審査とすることに決定しました。

休憩します。

休憩中に議会運営委員会を開き、後に各常任委員会を開催し委員会報告の確認をお願いします。

まず、総務常任委員会を第1委員会室で、厚生常任委員会を第2委員会室で開催し、終了後、経済常任委員会を第1委員会室で、建設常任委員会を第2委員会室で開催してください。

~~~~~ ○ ~~~~~

9時04分 休憩

9時35分 再開

~~~~~ ○ ~~~~~

○議長（森本隆夫君） 再開します。

~~~~~ ○ ~~~~~

## 日程第2 常任委員会報告

○議長（森本隆夫君） 日程第2、常任委員会報告を行います。

総務常任委員長より報告を求めます。

10番山縣君。

○総務常任委員長（山縣弘明君） それでは、総務常任委員会報告をいたします。

6月12日開会、出席委員は森本、左近、下崎、東、松岡委員と私山縣の6名です。

まず、福祉課の関係から。

第8回人権同和問題に関する町民意識調査を実施。

住宅地資金貸付事業の関係では、調定額2,080万911円に対し、収入済額は707万9,847円で、そのうち現年度分は296万4,862円、滞納分は224万4,356円、繰上償還分は187万629円、未納額は1,372万1,064円。なお、当初89名あった納付対象者は現在7名と、前年度比2名の減。

次に、消防署から。

平成25年度の火災件数は9件で、前年度と同件数。そのうちごみ焼却の燃え移りと落雷によるものが各3件。

救急出動件数は973件、搬送人員は936名。このうち町立温泉病院へは59%、新宮市立医療センターへは35%、ドクターヘリの出動要請は14件、防災ヘリは3件。

そのほか、防災勉強会が各小・中学校や地区施設などで積極的に開催されているとのことでした。

次に、教育委員会の関係。

冒頭、森教育長より3月31日に発覚した教育委員会職員による団体会計不正流用事件について改めて謝罪。公金管理、支出システムの見直しに関する御報告がありました。

このほか、県教育委員会の主催で6月4日に串本町で開催された片田教授による防災講演会には本町の全教職員が出席、6月20日には町総務課、消防、教育委員会、学校の4者による第1回学校防災意見交換会が開催される予定などの御報告がありました。

続きまして、6月1日現在の町内小学校の児童数は683名で前年度比27名の減。中学校は368名で前年度比26名の減と減少傾向に歯どめがきいていない状況とのこと。

このほか、各学校の実践研究支援や生徒指導、防災、特別支援教育に係る事業、研修会、公民館体力づくり教室、ニュースポーツ講習会、子ども会、図書館でのなちかつ未来塾の開催、子ども読書活動優秀実践図書館文部科学大臣表彰受賞などに関する報告や説明がありました。

委員からは、教育センターの体育館も含めた美化や、学校教職員の駐車料金課金、図書館協議会の活性化などに関する提言がありました。

税務課から。

平成24年度は本税で25件4,567万5,991円を移管し2,709万1,268円を回収。間接効果も合わせると2,928万268円の効果があった。完納件数は6件とのこと。

また、平成27年度で10年を迎える和歌山地方税回収機構について、和歌山地方税回収機構あり方検討会で検討され、27年2月に報告されるとのことでした。

総務課の関係。

ふるさと納税について。平成25年度のふるさと納税収納状況は、951件1,347万9,144円。送られたお礼銘品の上位は、紀州ミカン詰め合わせ549件、熊野牛すき焼き箱詰め134件、生ビンナガマグロ99件。なお、今年度の収納は既に320件とのこと。

6月からはクレジット払いでの収納ができるようになるとのこと。

また、6月1日に市野々地区で実施された防災訓練では、地区住民150名、行政——これは町、国、県、気象台——が50名、自主防災組織13名が参加し、避難所の開設運営、情報の収集伝達、要支援者への支援などを実施。

このほか、税収減や最近の資材、人件費の高騰、公債費増などによる大変厳しい財政見通しが報告されました。新規事業の凍結や先送りなど、事業計画を見直ししながら、当町の財政力に合った計画的な事業の実施が必要であるとの報告がありました。

以上で総務常任委員会の報告を終わります。

○議長（森本隆夫君） 次に、厚生常任委員長より報告を求めます。

6番湊谷君。

○厚生常任委員長（湊谷幸三君） それでは、厚生常任委員会報告を行います。

去る6月2日月曜日ですが、午前9時半から委員会を開会いたしました。

所管事務調査、環境衛生施設の実態についてということで、昨年12月25日に本町と太地町とで環境省へ提出しました循環型社会形成推進地域計画について特に説明を受けました。

この計画は、昨年10月に策定した両町の廃棄物処理基本計画をもとに循環型の社会形成、CO<sub>2</sub>削減を推進する体制を確立することを目標とするものであります。計画期間は平成26年4月1日から平成31年3月31日までの5カ年間となっております。平成23年度の両町合わせた総排出量は9,067トンであり、そのうち総資源化量は1,097トン、リサイクル率は12.1%となっております。中間処理による減量化量は7,134トンで78.7%が減量され、排出量の9.2%の836トンが埋め立てられております。循環型社会形成推進地域計画については、ごみの処理だけではなく、し尿の処理も義務づけられております。今後の処理体制の要点として、分別収集の徹底と啓発活動によりごみの減量に努めリサイクル率を向上させる。事業系ごみは事業者の責任によって減量化及び資源化することを要請する。し尿処理施設から発生する汚泥の燃料化についても検討していく。老朽化したごみ処理施設と固形燃料化施設を集約し——固形燃料化施設というのはRDFですね、これは太地町です——ごみ処理により発生する熱エネルギーを有効活用するため、新たにエネルギー回収推進施設を整備するということになっております。

新クリーンセンターの規模の算定は、平成29年度のごみの処理量を年間6,488トンと推定し、計算上は約1日25トンの処理能力で処理できるということになっております。ごみ処理施

設整備事業の基本方針——これは試案ですが——と書かれた那智勝浦町廃棄物減量等審議会に提出された資料には、建設予定地、これは市屋地区となっております。処理能力が25トン、1日ですね、25トン。準連続運転16時間をベースにと書いております。処理方式の検討、4番目に環境保全、5番目に熱エネルギーの利用やコミュニティー機能の検討と記載されておりました、これらについて審議会に諮問し、町民の意見を反映した基本構想の早期取りまとめを図り、順次新施設発注支援計画などと並行して進める必要がありますということです。

委員からは、審議会の委員に専門家や女性をもっと入ってもらおうよう意見がありました。

次に、6月12日午前9時半に厚生常任委員会を開会いたしました。

出席者は委員全員と担当課であります。

所管事務調査、病院の経営状況及び診療体制についてでございますが、3月31日付で退職した荒川医師の後任に4月1日より和医大リハビリテーション科より垣田医師が着任いたしました。

看護師を2名、新卒者ですが採用しております。

5月から耳鼻咽喉科の診療日が水、木から火、木の午後に変更しております。

中野小児科部長に夜間診療してもらっておりましたが、本人からの申し出により、今年度より夜間診療を中止するというご事情でございます。

2月下旬から電子カルテを本格稼働していて、現在までのところ大きな問題もなく運営できておりますが、医師より入力補助員をつけることの要望があり、今後の課題となっております。

看護師、理学療法士、作業療法士、臨床検査技師、臨床工学技士、管理栄養士の退職者の補充ということで募集をしておりましたが、理学療法士と作業療法士については応募がありませんでした。

医師確保については、和医大に要請をしておりましたが、本年度は紹介なしということになったそうでございます。

本年、温泉病院は開院50周年ということで記念式典を予定しております、本来は7月であります、諸般の事情で10月初旬を予定しておるといってございまして。

次に、経営状況ですが、3月累計です。入院収益は9億7,490万8,353円で前年度より6,138万2,945円の増となっております。外科がなくなり皆減となっておりますが、内科、整形外科、リハビリテーション科がいずれも増となっております、一方、外来収益は6億7,090万2,619円で、前年度との差は39万3,374円の減となっております。内科、整形外科、リハビリテーション科が増となっておりますが、他の診療科はいずれも減となっております。医業費用は15億2,252万5,640円で、前年度より1,380万8,161円の減となっております。この主な要因は給与費が3,075万1,351円の減となっております、これは給料のカット措置によるものでございます。経費が2,141万2,566円の増の要因は、電気料と修繕費、電子カルテ導入による委託費の大幅増によるものでございます。病院事業収益から病院事業費用を差し引いた純利益は3,722万9,149円のマイナスとなっております、それでも昨年と比べて7,234万3,457円の増

となっております。

次に、環境衛生施設の実態についてでございます。

新クリーンセンターの関係では、生活環境影響調査、これは環境アセスメントと言われているものですが、これをコンサル9業者に6月19日に入札の予定となっております。

廃棄物減量等推進審議会が5月21日に開催され、那智勝浦町と太地町の目標年次におけるごみの処理量、これは29年度だそうでございますが、処理量を25トン、処理方式は焼却処理方式とし、ストーカ炉の優先性を確認したということでございます。

5月29日、廃棄物減量等推進審議会会長名で、これは小谷一郎さんでございますが、一般廃棄物（可燃ごみ）中間処理施設整備に係るアンケートを各プラントメーカーに送付しているということでございます。

次に、現クリーンセンターについてでございます。

焼却炉については順調に稼働しております。

資源化ごみのほうで臨時職員が1名退職して欠員になっております。

5月10日に天満区との話し合いを持っておりますが、期限協定、平成28年3月31日について確たる話はしていないと、年内に期限協定について一定の方向性を出させてもらいたいとの申し出をしたということでございます。

紀南環境広域施設組合についてでございます。

最終処分場の埋立容量が30万立米から20万立米に減少することになったということでございます。これは田辺市のプラスチックごみの減量と、そして御坊市に民間の処分場がつくられることになったということでこういうことになったそうでございます。供用開始は平成30年を目指し、15年で埋め立てを終了し、その後10年間は管理をしていくということになっておるそうでございます。

次に、第1回国保運営協議会を7月中旬に開催の予定で、国民健康保険料の見直しについて協議をしてもらうということでございます。

次に、福祉施設の実態について。

南紀園についてでございますが、竣工式は本年3月16日に行われました。5月末日の本町住民の入所状況ですが、特別養護老人ホームに54名の方が、養護老人ホームに7名の方が入所しております。

次に、下里保育所についてでございます。

本年6月30日に使用を開始し、7月4日に竣工式を行う予定であります。

介護保険制度の状況についてでございます。

平成25年度介護基盤緊急整備等臨時特例補助金整備事業の進捗状況は43%となっております。これは日好荘の関係でございます。完成は7月中旬となっております。県の検査等がありますので、開設は10月の予定だそうでございます。

次に、3月31日現在の人口は1万6,794人で、65歳以上の高齢者は6,164人となっていて、高齢化率は36.7%です。

介護保険の第1号被保険者数は6,237人で、うち75歳未満は2,896人、75歳以上は3,341人となっております。

以上でございます。よろしく申し上げます。

○議長（森本隆夫君） 次に、経済常任委員長より報告を求めます。

8番東君。

○経済常任委員長（東 信介君） それでは、経済常任委員会の報告を行います。

6月12日午後1時30分から経済常任委員会を開会いたしました。

出席者は委員全員と担当課です。

議件は、所管事務調査です。

まず、商工業の振興について。

証明関係が、和歌山県災害復旧対策資金の証明が本年の3月31日に終了いたしました。

次に、セーフティネット保証5号、これは業績の悪化による業種に属する中小企業を支援するための措置です。25年度は28件、26年度5月末時点で3件の証明がありました。

空き店舗活用事業について。

近畿経済産業局の補助事業や県のほうからも補助事業があり、現在空き店舗事業との関係を検討中とのことです。

次に、観光振興について。

観光動態については、宿泊人員は減少ぎみ、昨年度に比べ減少ぎみとのことです。

次に、現在までの行事過程。

3月21日、22日、ウルトラC級グルメフェスタ in 勝浦、これは2日間で4,000人の来場があり、出店店舗数は27店舗です。

次に、5月20日、なでしこジャパンモニュメント除幕式、これは13人分の足形——ゴールキーパーは手形とのことです——を展示いたしております。

5月28日、サッカー日本代表必勝祈願祭 in 熊野。日本サッカー協会の川淵三郎最高顧問夫妻と田嶋幸三副会長が来町し、熊野那智大社、那智山青岸渡寺でワールドカップブラジル大会での日本代表の活躍を祈願いたしました。

次に、南紀熊野ジオパーク推進協議会。

今年度の日本ジオパーク認定に向けて申請書を提出しています。4月に調査委員来町予定です。委員会といたしましても本年度の視察研修先として先進地の世界ジオパークを検討中です。

今後の予定。

海水浴場海開き。

那智海水浴場が7月6日、玉の浦海水浴場が7月11日、湯川海水浴場、宇久井海水浴場が7月18日、海開きの予定です。

次に、世界遺産。

紀伊山地の霊場と参詣道登録10周年記念で7月8日、那智勝浦町体育文化会館にて和歌山、

三重、奈良の3県の知事が世界遺産の将来像について話し合います。和歌山デスティネーションキャンペーン期間中に勝浦バルが開催され、9月27日、28日に、仮称ですが、電車で行く100人の熊野詣が開催されます。

次に、農林業の振興について。

農林業関係で、災害復旧事業、台風12号農地農業用施設災害復旧事業、これは23年から25年度の分なのですが、農地で53カ所中48カ所完了、5カ所廃工、農業用施設42カ所中31カ所完了、11カ所廃工です。

台風12号林道施設災害復旧事業。台風12号で7カ所完了、1カ所未完了。台風12号関係で林道大雲取線災害復旧工事が6月5日に契約されました。台風12号関係で町単独災害復旧工事23年度から25年度まで203件の工事がありました。

25年度林道災害復旧工事で、これは平成25年9月15日の台風18号による被災のもので、林道大戸妙法線災害復旧工事が2月20日に工事契約されました。

次に、鳥獣害対策関係で、ニホンジカ管理捕獲で4月1日から5月20日までの間に151頭の捕獲がありました。有害捕獲実績で5月末時点で鹿8頭、イノシシ45頭、猿3頭、アライグマ14頭、アナグマ2頭、タヌキ1頭です。

次に、水産関係では、鮮魚マグロは前年度との対比ではマイナス、これはマグロ資源の減少で、マグロの漁場が遠くなり行き帰りの日数がかかり入港回数が減少、イコール漁獲量が減り、数量、金額とも減少しています。委員会といたしましても、何らかの対策が必要であるという意見が出ています。

以上で経済常任委員会報告を終了いたします。よろしく申し上げます。

○議長（森本隆夫君） 次に、建設常任委員長より報告を求めます。

11番中岩君。

○建設常任委員長（中岩和子君） それでは、建設常任委員会の報告をさせていただきます。

4月10日委員会、出席者、建設課、全委員。

開会后、委員派遣をとり、啓発センター予定地と言われております大門坂駐車場と、議案第40号町道寺前線町道路線変更について現地視察を行いました。

委員からは、大門坂駐車場は日ごろから車の利用が多く、これ以上駐車場を狭くすることは問題である。観光の町として問題であるという御意見でございました。ほかに予定地を求めるべきだとの声でした。

5月9日委員会、出席者、建設課と全委員です。

付託議案、議案第40号町道の路線変更について。

町道寺前線が町道認定とされた経過について建設課より説明を受けました。

陳情者、町長ともに、町道認定の廃止を望んでいるようですが、利用している区民の意向も聞かなくてはとのことで、次の委員会に区長さんに参考人として出席していただくことを決定いたしました。

5月20日委員会、出席者、建設課、全委員、地元区長さんが参考人として来ていただいております。

ります。

その地元区長さんに参考人として出席していただき、地元利用者の御意見を聞かせていただきました。町道認定となった経過がわからないので廃止となっても仕方がないが、区民が便利よく使える道であってほしいとの区長さんの御意見でした。

陳情者も今後その道を通ってもよいと言っているが、40周年たっている橋が心配であるとのこと。委員会としては、後々のことを考え、橋左岸までを町道とするよう陳情者との話し合いを求めました。また、今後の使用協定書も結ぶよう提案をいたしました。

6月12日委員会、出席者、各担当課、全委員。

所管事業調査、水道事業について。

工事発注状況。

上水、朝日地区配水管布設替工事は6月4日に契約。天満地内配水管布設替工事、旧浜ノ宮配水池解体撤去工事は8月入札予定。簡水、南大居地内配水管布設替工事、井鹿地内配水管布設替工事は6月4日契約。南大居地内配水管布設替工事は7月に入札予定であります。

災害復旧事業につきましては、浜ノ宮・川関地区配水管本復旧工事は7月入札予定、那智勝浦道路関連による移設工事は二河地内送水管布設替工事を7月入札予定です。

簡易水道統合整備事業は太田川取水・浄水・導水施設築造工事は6月2日に入札、仮契約をしております。簡易水道統合整備事業設計業務委託また工事施工監理委託は7月に入札予定であります。

業務委託につきましては、市野々地区災害復旧整備設計業務委託が5月20日に契約をしております。市野々取水は現在砂防工事の関係がありますが、順調に進んでおる等々の報告を受けました。

所管事務調査、都市計画実施状況と町道管理について。

河川港湾管理については、26年3月14日以降の入札関係は、4月30日に大谷1件、5月30日に町単1件、災害関係では町発注23年台風12号関係46件発注、42件完成、4件繰り越し中、そのうちの1件が完成をしております。ほかは工事中でございます。

県発注台風12号関係106件発注、101件完成、5件繰越工事中。

国交省発注8カ所の砂防ダムの本堤は完了、第2副堤は6カ所工事中であります。

国交省関係では、那智勝浦道路川関一市屋間は平成27年完成予定で工事が行われております。すさみ一串本間19.2キロは4月に新規事業化が決定、串本一太地間20キロはまだ事業化が未決定である。

県関係は、県道那智山勝浦線歩道整備は25年繰り越しで工事中であります。間もなくできる予定であります。県道長井古座線整備事業は、25年2件用地買収完了、26年も用地買収の予定であります。

次に、啓発センター予定地について、その後どうなっているかについては、町長は大門坂駐車場に建設をし、足りない駐車スペースを第2駐車場を近くに求めるとのこと。委員からは、管理やトイレの問題がある。第2駐車場をつくるなら啓発センター予定地をその地に求めるべ

きであるとの意見だった。担当課は、今後検討するとのこと。

また、議案第40号町道の路線変更については、今後も通行可の覚書を陳情者と区が結んだようではあるが、はっきりとした返事がまだないとのことで、委員会としては次の議会まで継続審査とすること決定しました。

以上でございます。

○議長（森本隆夫君） 以上で常任委員会報告を終わります。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第3 委員会所管事務調査継続調査要求

○議長（森本隆夫君） 日程第3、委員会所管事務調査継続調査要求を議題とします。

総務、厚生、経済、建設の各常任委員長及び議会運営委員長から、その所管事務について引き続き調査研究を行う必要があるため次の定例会までの継続調査の申し出が議長宛てに届いております。

お諮りします。

各委員長からの申し出のとおり次の定例会まで継続調査とすることに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（森本隆夫君） 異議なしと認め、各委員長からの申し出のとおり次の定例会までの継続調査とすることに決定しました。

~~~~~ ○ ~~~~~

### 日程第4 閉会中の継続調査要求

○議長（森本隆夫君） 日程第4、閉会中の継続調査要求を議題とします。

議会広報編集委員長から、議会広報編集事務について閉会中も引き続き調査を行う必要があるため次の定例会までの継続調査の申し出が議長宛てに届いております。

お諮りします。

議会広報編集委員長からの申し出のとおり次の定例会までの継続調査とすることに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（森本隆夫君） 異議なしと認め、議会広報編集委員長からの申し出のとおり次の定例会までの継続調査とすることに決定しました。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第5 議員派遣について

○議長（森本隆夫君） 日程第5、議員派遣についてを議題とします。

お手元に配付のとおり、県町村議会全議員研修会等に議員を派遣したいと思います。御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（森本隆夫君） 異議なしと認め、お手元に配付のとおり議員派遣をすることに決定しました。

なお、閉会中において議長及び議員の調査、会議等で必要な出張については議長に委任されたいと思いますが、御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（森本隆夫君） 異議なしと認め、閉会中において議長及び議員の調査、会議等で必要な出張については議長に委任することに決定しました。

お諮りします。

本定例会の本会議における発言に関し、会議録の調製時にその精査を議長に一任されたいと思いますが、御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（森本隆夫君） 異議なしと認め、本定例会の本会議における発言に関し、会議録の調製時にその精査を議長に一任することに決定しました。

これで日程は全部終了しました。

会議を閉じます。

平成26年第2回那智勝浦町議会定例会を閉会します。

~~~~~ ○ ~~~~~

10時11分 閉会

~~~~~ ○ ~~~~~

○議長（森本隆夫君） 閉会に当たりまして一言御挨拶申し上げます。

26年第2回定例会は去る11日から本日まで8日間の会期日程をとったところ、その予定に的確に消化していただきました。さらに、当局から付議されました事件につきましては全て御承認、御可決をいただきましたこと、くれぐれも御礼申し上げます。ありがとうございました。

これからうっとうしい季節に入るわけでございますけれども、この執行に当たりましては、災害の復興に関して十分なるスピードをもって対応していただき、災害の地域の安全・安心をより一層早く定めてあげていただきたいと御希望させていただきます。

さらには、先ほど決定しました議員派遣についての3件につきましては、皆さんの協力を重ねてお願いして、私の簡単な挨拶でございますけれども、お礼の言葉にかえさせていただきます。ありがとうございました。

町長寺本君。

○町長（寺本眞一君） 閉会に当たりまして一言御挨拶申し上げます。

去る6月11日に開会しました第2回定例会におきまして、議員の皆様には本会議並びに各委員会を通じて慎重なる御審議をいただき、心から感謝を申し上げます。おかげをもちまして平成26年度補正予算を初め、関係案件を原案どおりそれぞれ御可決いただきましたことを心から厚くお礼を申し上げます。会期中に賜りました御意見等につきまして、十分これを尊重し、よく検討いたしまして町政の運営に遺漏なきようにしていく所存でございます。

さて、開会冒頭にも申し上げましたが、5月28日に川淵最高顧問が当熊野三山を訪れ必勝祈

願をされましたサッカー男子日本代表が現在開催中のワールドカップブラジル大会でグループ予選中であり、無事に予選を通過し、よい結果を残していただき、7月14日の那智の火祭りに花を添えていただければ熊野三山のヤタガラスが輝いてこよやかと思っております。

8月11日には花火大会で、ことしも那智勝浦町は夏色に染まります。皆様にはどうかサッカーの応援と花火大会の御観覧をお願い申し上げます。

ことしも例年より少し早く梅雨入りしましたが、これから夏にかけて蒸し暑い日が続く気候になります。ますます暑くなってまいりますので、議員の皆様におかれましては体調に十分御注意していただき、御活躍されますことを御祈念申し上げます。

これで御挨拶とさせていただきます。どうもありがとうございました。

上記会議次第は事務局長の記載したものであるが、その内容が正確であることを証するためにここに署名します。

平成 年 月 日

那智勝浦町議会 議長 森 本 隆 夫

那智勝浦町議会副議長 下 崎 弘 通

会議録署名議員 東 信 介

会議録署名議員 松 岡 大 輔